



会員のひろば



澤田 信子

絵手紙教室

(注釈) カンカラ三線とは、終戦後、空き缶と棒で手作りした沖縄特有の弦楽器。

沖縄の
カンカラ三線弾くおじい
「なんにもなくても
生きてることが幸せさ」
この言葉の重み忘れまい

高山 久子

遠い夏の日の玉音放送
皆の泣き声を背に外へ
青い 青い 空が
軍国少女の転向
あの空の色は今も

武田 勝代

五行歌の会

水音にまぎれてみたる虫の声
秋高き山くつきりと写生の子

川口 昭治

俳句

「写経」

写経とは、文字どおり仏經典を書き写すことで、平安時代頃から「功德が得られる」と考えられるようになり、最近では、寺院で写経道場を開くなど静かなブームとなっています。

また、「手書きで文字を書くことは、脳の前頭葉の活性化が期待できる。」との事。

現在、写経は「般若心経」の276文字が一般的であるようです。

私が、写経を始めたのは、「四国遍路」の三年目からであり、平成21年の「鎌倉三十三観音巡礼」で終わっていました。そこで、ボケ防止のために再度始めることとしました。

100円ショップで、細文字の筆ペンを購入し、以前に使用した「般若心経」の手本を下書きにして、半紙を置き、「般若心経」を唱えながら、上から書き写します。(約1時間要)書き終えたならば、「願旨」「年月日」「名前(上または下に謹写)」を記載して完成です。

完成した写経は、粗末にできず、大切に保管し、いずれ寺院に納経します。

但し、寺院への納経は、納経料が必要なことがあります(数百円から数千円)ので、寺院に問い合わせをしてください。

山内 進

「八木紀夫氏の思い出」

私が推進会議の幹事長になった頃、八木氏も前後して事務局長に就任された。二人でがんばりましょうと激励し合ったことがある。その後、シーズネットでの会合の帰り道、中央区西方面へのバス停で度々顔を合わせた。ある時、八木氏から自宅パソコンの調子が悪いので、見てくれないかとの依頼があり、私がサークル活動でパソコン教室を主宰していた関係で引き受け、その足で農試公園近くのご自宅にお邪魔してパソコンの診断を行い、問題点を改善したことがあった。それ以後、事務局長を辞められてからはお会いする機会はなかったが、今でもなつかしい顔の一つである。

佐藤 駿

<7月16日、シーズネット元事務局長：八木紀夫氏をご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。>